



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成23年7月26日

上場会社名 エムスリー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2413 URL <http://corporate.m3.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 谷村 格 (TEL) 03-5408-0800  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 辻 高宏 配当支払開始予定日 —  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,184	24.6	1,886	46.4	1,890	52.3	1,103	62.8
23年3月期第1四半期	3,358	52.7	1,288	21.1	1,241	15.2	677	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,177百万円 (89.9%) 23年3月期第1四半期 620百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4,211.57	4,162.61
23年3月期第1四半期	2,589.02	2,560.88

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	17,080	13,576	76.7
23年3月期	17,786	13,708	74.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 13,095百万円 23年3月期 13,308百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5,000.00	5,000.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期 (予想)	—	0.00	—	—	—

- (注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無  
 2 現時点において、平成24年3月期の配当予想額は未定です。今後の資金需要動向とキャッシュ・フローの状況とを勘案し、株主配当の水準を決定する予定です。  
 3 平成23年3月期の期末配当金の内訳: 普通配当3,900円00銭、記念配当1,100円00銭

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,000	16.6	3,200	20.2	3,200	22.8	1,800	25.4	6,868.76
通期	17,250	17.8	7,250	20.2	7,250	18.0	4,150	19.0	15,836.31

- (注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無  
 2 1株当たり予想当期純利益については、平成24年3月期第1四半期中平均株式数262,056株に基づいて算出しています。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	262,086株	23年3月期	262,020株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	一株	23年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	262,056株	23年3月期1Q	261,853株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、平成23年7月26日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12
(7) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更 .....	12
(8) 会計方針の変更等 .....	12
(9) 追加情報 .....	12
(10) 注記事項 .....	13
(11) 重要な後発事象 .....	17

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当期においても医療従事者専門サイト「m3.com」の基盤強化を進め、医師会員は、当第1四半期連結累計期間において4千人増加の20.9万人に達しました。

既存サービスについては、顧客への各サービスの一層の浸透により、順調に推移しました。製薬会社向けのマーケティング支援サービスは、国内主要製薬会社のほぼ全社が既にご利用されている基本的な「提携企業」サービス、「m3.com」のプラットフォーム上で会員医師が主体的、継続的に高頻度で情報を受け取れる「MR君」サービス、会員医師に対してメールで直接アプローチする「m3MT」サービスと、意図や用途により選べるサービスメニューを提供しています。

また、会員医療従事者を対象とした調査サービス、会員へ医療情報以外のライフサポート情報を提供する「QOL君」などの一般企業向けマーケティング支援サービス、一般の方々からの健康や疾病に関する質問に「m3.com」登録医師が回答する「AskDoctors」(<http://www.AskDoctors.jp/>)、女性のための健康管理・美容促進サポートサイト「AskMoon女性の医学」(<http://askmn.jp/>)、最新の心理学をベースとした心の健康管理サイト「AskMind★ココロ日記」(<http://askmd.jp/>)、診療所の経営をサポートする「m3.com 開業・経営」等の新規サービスの拡充も進めています。

さらに、ITを活用した大規模臨床研究支援サービスを提供するメビックス株式会社(以下「メビックス」という)、医師、薬剤師向けの求人求職支援サービスを提供するエムスリーキャリア株式会社(以下「エムスリーキャリア」という)、クリニックの診療予約サービスを提供するアイチケット株式会社(以下「アイチケット」という)に加えて、平成23年4月に製薬会社向け情報資料等を作成するリノ・メディカル株式会社(以下「リノ・メディカル」という)及び200以上の医療系学術団体が利用する会員制コミュニティサイト「学会研究会.jp」を運営する学会研究会.jp株式会社(以下「学会研究会.jp」という)の2社を新たに連結子会社とする等、グループ会社も拡大しています。

一方海外においては、米国で、当第1四半期連結累計期間において、医療従事者向けウェブサイト「MDLinx」の医師会員が3.2万人増加の15.7万人に達し、「MR君」の米国版である「M3 Messages」等の製薬会社向けマーケティング支援サービスの展開が順調に進んでいます。また、日本、米国、欧州、中国及び韓国に跨る100万人の医師パネルを構築し、医療分野においてグローバルな調査サービスの提供を開始する等、調査サービスも拡大しています。

当第1四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりです。

(当期の業績)

(単位：百万円)

	平成23年3月期 第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	平成24年3月期 第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	比較増減		(参考) 前連結会計年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
売上高	3,358	4,184	+825	+24.6%	14,646
営業利益	1,288	1,886	+597	+46.4%	6,031
経常利益	1,241	1,890	+649	+52.3%	6,143
四半期(当期)純利益	677	1,103	+425	+62.8%	3,486

(セグメントの業績)

(単位：百万円)

		平成23年3月期 第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	平成24年3月期 第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	比較増減	
医療 ポータル	セグメント売上高	2,537	3,160	+622	+24.5%
	セグメント利益	1,435	1,886	+450	+31.4%
エビデンス ソリューション	セグメント売上高	477	449	△27	△5.8%
	セグメント利益	△55	111	+166	—
海外	セグメント売上高	351	536	+185	+52.7%
	セグメント利益	10	8	△2	△24.5%
その他	セグメント売上高	65	102	+37	+56.9%
	セグメント利益	△1	10	+11	—
消去又は全社	セグメント売上高	(73)	(64)	—	—
	セグメント利益	(148)	(125)	—	—
合計	売上高	3,358	4,184	+825	+24.6%
	経常利益	1,241	1,890	+649	+52.3%

①医療ポータル

医療関連会社マーケティング支援分野の売上高は、1,865百万円（前年同期比19.9%増）となりました。eディテール（会員向けに配信したメッセージ）量が伸びたこと等により、「MR君」サービスの売上高が前年同期比23%増となった等、全体としては前年同期比19.9%の増収となりました。

調査分野の売上高は297百万円（前年同期比15.9%増）となりました。製薬会社の着実な需要増加と企画型調査の拡大等の要因により好調に推移しました。

その他分野の売上高は、997百万円（前年同期比37.5%増）となりました。エムスリーキャリアにおける医師、薬剤師向け人材紹介事業及び求人広告事業が好調に推移しました。

これらの結果、医療ポータルセグメントの売上高は、3,160百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費の総額は、コンテンツ売上増加に伴う業務委託費の増加、エムスリーグループ業務拡大に伴う人件費増加及びサービス拡大に伴う会員向けポイント関連費用の増加等の要因により、1,272百万円（前年同期比19.0%増）となりました。

以上の結果、医療ポータルのセグメント利益は1,886百万円（前年同期比31.4%増）となりました。

②エビデンスソリューション

エビデンスソリューションセグメントにおいては、大型プロジェクトの進捗があったものの、一部既存の大規模臨床試験が計画通り終息に向かっていること等により、売上高は449百万円（前年同期比5.8%減）となりました。また、構造改革の進展によるコスト削減や、エムスリーとメビックスのシナジー効果が順調に拡大した他、一部の臨床試験の内容変更に伴う原価率の改善等により、セグメント利益111百万円（前年同期比166百万円改善）となりました。

③海外

米国子会社M3 USAにEMS Researchを加えた米英の売上高は、「M3 Messages」及び「MDLinx Clicks」等の製薬会社向けマーケティング支援サービスの拡大とEMS Researchが加わったことにより、500百万円（前年同期比57.5%増）となりました。韓国においても順調に事業が推移した結果、為替変動のマイナスの影響(64百万円)を吸収し、海外セグメントの売上高は536百万円（前年同期比52.7%増）となりました。

また、米英においては、業務拡大等のための費用の増加を増収により吸収し増益となったものの、平成23年1月に設立したドイツ子会社MedQuarter Onlineの事業立ち上げに伴う損失27百万円等により、海外セグメントの利益は8百万円（前年同期比24.5%減）となりました。

## ④その他

その他セグメントの売上高は、アイチケットのサービス拡大の他、リノ・メディカル及び学会研究会jpを新たに連結子会社としたこと等により、売上高は102百万円（前年同期比56.9%増）となりました。また、セグメント利益は、アイチケットの利益改善と持分法損益の改善により、10百万円（前年同期比11百万円改善）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は4,184百万円（前年同期比24.6%増）、営業利益は1,886百万円（前年同期比46.4%増）、経常利益は1,890百万円（前年同期比52.3%増）、四半期純利益は1,103百万円（前年同期比62.8%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産、負債及び純資産の状況)

資産合計は、前連結会計年度末比706百万円減の17,080百万円となりました。法人税等及び配当金の支払等があり、現金及び預金が1,182百万円減少したことを主な要因に、流動資産は前連結会計年度末比990百万円減の12,320百万円となりました。また、学会研究会jpの新規連結によるのれんの計上等により無形固定資産が198百万円増加したことを主な要因に、固定資産は284百万円増の4,759百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末比574百万円減の3,503百万円となりました。法人税等の支払等により未払法人税等が753百万円減少したこと等により、流動負債が552百万円減の3,109百万円となったことが主な要因です。

純資産合計は、前連結会計年度末比131百万円減の13,576百万円となりました。四半期純利益1,103百万円を計上した一方、剰余金配当1,310百万円を行ったことにより利益剰余金が206百万円減少したことが主な要因です。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末残高より1,148百万円減少し、8,244百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、439百万円の収入（前年同期比687百万円の収入増）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,921百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額1,445百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、学会研究会jpへの出資に伴う連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出225百万円等により、199百万円の支出（前年同期比128百万円の支出減）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、1,373百万円の支出（前年同期比489百万円の支出増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの当期業績については、増収増益となることを見込んでいます。

①医療ポータルセグメント

医療関連会社マーケティング支援分野については、引き続き「MR君」サービスの利用量の増加を中心とした継続的な拡大を見込んでいます。

調査分野は、製薬会社を中心とした着実な需要を背景に、調査サービスが堅調に推移すると見込んでいます。

その他分野においては、エムスリーキャリアの成長を中心に、各サービスの拡大を見込んでいます。

費用については、一層の成長に向けた積極的な人員増等を計画していますが、既存サービスに直接関連する費用に関しては構造的な変化は見込んでいません。

以上の結果、医療ポータルセグメントは、増収増益を見込んでいます。

②エビデンスソリューションセグメント

エビデンスソリューションセグメントについては、大型プロジェクトの本格展開と構造改革の進展によるコスト削減効果により、増収増益を見込んでいます。

③海外セグメント

海外セグメントについては、米国において「M3 Messages」、「MDLinx Clicks」等のマーケティング支援サービスや調査サービス等が拡大するとともに、新たに連結子会社としたEMS Researchも増収に寄与する見込みです。

費用については、「M3 Messages」、「MDLinx Clicks」等のマーケティング支援サービス拡大のための費用の発生を、引き続き見込んでいます。

以上の結果、海外セグメントは、増収増益を見込んでいます。

④その他セグメント

その他セグメントについては、アイチケットのサービス拡大等により増収増益を見込んでいます。

これらを踏まえ、平成24年3月期の業績見通しを、以下のとおりとしております。

(単位 百万円)

	平成23年3月期 実績	平成24年3月期 業績予想	差異
売上高	14,646	17,250	+2,604
営業利益	6,031	7,250	+1,219
経常利益	6,143	7,250	+1,107
当期純利益	3,486	4,150	+664

※ 上記業績予想につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (8) 会計方針の変更等」をご参照ください。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,824,149	8,641,165
受取手形及び売掛金	2,581,603	2,799,179
商品	3,168	2,697
仕掛品	186,220	179,155
その他	747,996	732,592
貸倒引当金	△32,045	△34,389
流動資産合計	13,311,092	12,320,400
固定資産		
有形固定資産	145,496	193,880
無形固定資産		
のれん	1,614,577	1,835,463
その他	883,326	861,051
無形固定資産合計	2,497,904	2,696,514
投資その他の資産		
投資有価証券	1,247,797	1,231,034
その他	720,571	773,632
貸倒引当金	△136,734	△135,449
投資その他の資産合計	1,831,634	1,869,217
固定資産合計	4,475,035	4,759,612
資産合計	17,786,127	17,080,013
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	539,453	455,278
未払法人税等	1,490,053	736,092
ポイント引当金	495,000	582,891
その他の引当金	134,407	85,238
その他	1,003,667	1,250,093
流動負債合計	3,662,582	3,109,594
固定負債		
退職給付引当金	10,954	8,488
繰延税金負債	57,665	73,151
その他	346,800	312,107
固定負債合計	415,419	393,747
負債合計	4,078,002	3,503,342



(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197,787	1,203,445
資本剰余金	1,426,182	1,431,840
利益剰余金	10,620,003	10,413,570
株主資本合計	13,243,974	13,048,855
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129,332	134,339
為替換算調整勘定	△65,160	△87,443
その他の包括利益累計額合計	64,171	46,895
新株予約権	62,483	74,683
少数株主持分	337,495	406,236
純資産合計	13,708,125	13,576,671
負債純資産合計	17,786,127	17,080,013

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	3,358,738	4,184,387
売上原価	942,990	984,892
売上総利益	2,415,748	3,199,495
販売費及び一般管理費	※1 1,127,063	※1 1,313,369
営業利益	1,288,685	1,886,125
営業外収益		
持分法による投資利益	—	17,059
その他	8,016	10,001
営業外収益合計	8,016	27,060
営業外費用		
為替差損	47,225	22,303
その他	7,978	280
営業外費用合計	55,204	22,584
経常利益	1,241,497	1,890,601
特別利益		
負ののれん発生益	—	35,012
その他	4,444	—
特別利益合計	4,444	35,012
特別損失		
子会社清算損	—	3,907
その他	6,436	—
特別損失合計	6,436	3,907
税金等調整前四半期純利益	1,239,504	1,921,706
法人税、住民税及び事業税	467,570	693,696
法人税等調整額	71,209	32,771
法人税等合計	538,779	726,467
少数株主損益調整前四半期純利益	700,724	1,195,238
少数株主利益	22,782	91,571
四半期純利益	677,941	1,103,666

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	700,724	1,195,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67,346	5,050
為替換算調整勘定	△18,346	△22,155
持分法適用会社に対する持分相当額	5,292	△171
その他の包括利益合計	△80,400	△17,276
四半期包括利益	620,324	1,177,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	623,156	1,087,982
少数株主に係る四半期包括利益	△2,831	89,978

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,239,504	1,921,706
減価償却費	40,579	40,705
のれん償却額	52,025	53,647
負ののれん発生益	—	△35,012
子会社清算損益(△は益)	—	3,907
ポイント引当金の増減額(△は減少)	14,969	88,083
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△43	△10,954
その他の引当金の増減額(△は減少)	△19,844	△49,031
受取利息及び受取配当金	△6,888	△8,141
為替差損益(△は益)	47,225	22,303
持分法による投資損益(△は益)	5,517	△17,059
売上債権の増減額(△は増加)	73,035	△153,134
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,083	12,526
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△12,692	25,995
仕入債務の増減額(△は減少)	△107,253	△108,183
未払費用の増減額(△は減少)	△71,921	10,422
前受金の増減額(△は減少)	△163,235	21,035
その他の流動負債の増減額(△は減少)	8,318	25,284
その他	△4,007	16,571
小計	1,084,206	1,860,673
利息及び配当金の受取額	10,580	24,325
利息の支払額	—	62
法人税等の支払額	△1,342,454	△1,445,665
営業活動によるキャッシュ・フロー	△247,667	439,396
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△54,416	△1,822
定期預金の払戻による収入	50,000	50,000
有形固定資産の取得による支出	△38,527	△45,801
無形固定資産の取得による支出	△37,958	△20,517
敷金及び保証金の差入による支出	△238,135	—
敷金及び保証金の回収による収入	1,817	—
投資有価証券の取得による支出	—	△8,230
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△225,767
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	52,993
貸付けによる支出	△10,633	—
その他	—	△259
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327,852	△199,404
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	—	△100,654
長期借入金の返済による支出	—	△79,838
株式の発行による収入	12,674	11,314
配当金の支払額	△886,119	△1,187,839
少数株主への配当金の支払額	△10,773	△16,758
財務活動によるキャッシュ・フロー	△884,219	△1,373,774
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23,485	△15,127
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,483,225	△1,148,909
現金及び現金同等物の期首残高	8,502,188	9,393,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 7,018,962	※1 8,244,921

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	医療ポータル	エビデンス ソリューション	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,465,118	477,310	351,417	3,293,847	64,891	3,358,738
セグメント間の内部売上高 または振替高	72,806	—	—	72,806	218	73,025
計	2,537,925	477,310	351,417	3,366,654	65,109	3,431,764
セグメント利益(△損失)	1,435,585	△55,573	10,969	1,390,981	△1,294	1,389,687

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機関向け各種情報提供サービス事業等を含んでいます。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(単位:千円)
報告セグメント計	1,390,981
「その他」の区分の利益	△1,294
セグメント間取引消去	△11,164
全社費用(注)	△137,025
四半期連結損益計算書の経常利益	1,241,497

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用です。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	医療ポータル	エビデンス ソリューション	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,097,408	449,410	535,558	4,082,377	102,010	4,184,387
セグメント間の内部売上高 または振替高	63,008	—	1,077	64,085	124	64,209
計	3,160,416	449,410	536,635	4,146,462	102,134	4,248,597
セグメント利益	1,886,480	111,102	8,282	2,005,864	10,123	2,015,988

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機関向け各種情報提供サービス事業及び製薬会社向け情報資材等作成事業等を含んでいます。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(単位:千円)
報告セグメント計	2,005,864
「その他」の区分の利益	10,123
セグメント間取引消去	△7,348
全社費用(注)	△118,038
四半期連結損益計算書の経常利益	1,890,601

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用です。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成23年4月1日  
至 平成23年6月30日)

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、リノ・メディカル株式会社及び学会研究会jp株式会社については、新たに株式を取得したことから、連結の範囲に含めています。

(8) 会計方針の変更等

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成23年4月1日  
至 平成23年6月30日)

(1) 株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しています。

なお、これによる影響については、「1株当たり情報」に記載しています。

(9) 追加情報

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成23年4月1日  
至 平成23年6月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しています。

(10)注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
	(千円)	(千円)
報酬・給与	322,608	370,368
販売促進費	226,795	218,135
賞与引当金繰入額	20,651	28,056
ポイント引当金繰入額	15,129	88,083

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
	(千円)	(千円)
現金及び預金勘定	7,269,257	8,641,165
預入期間3ヶ月超の定期預金	△250,294	△286,009
拘束性預金	—	△110,234
現金及び現金同等物	7,018,962	8,244,921

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年4月27日 取締役会	普通株式	942,235	3,600	平成22年3月31日	平成22年6月7日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年4月25日 取締役会	普通株式	1,310,100	5,000	平成23年3月31日	平成23年6月6日	利益剰余金



## (企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

取得による企業結合

## 1 リノ・メディカル株式会社の取得

## (1) 企業結合の概要

被取得企業の名称	リノ・メディカル株式会社
被取得企業の事業の内容	製薬会社向け情報資材等作成事業
企業結合を行った主な理由	専門性の高いメディカルコピーライティングのリソースを獲得することによるコンテンツ制作基盤の強化
企業結合日	平成23年4月28日
企業結合の法的形式	株式取得
結合後企業の名称	リノ・メディカル株式会社
取得した議決権比率	100.0%
取得企業を決定するに至った主な根拠	現金を対価としてリノ・メディカル株式会社の株式を100%取得したため

## (2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成23年4月30日をみなし取得日としており、かつ、当該子会社については、平成23年5月31日現在の財務諸表を基礎として連結決算を行っているため、平成23年5月1日から平成23年5月31日までの業績が含まれています。

## (3) 被取得企業の取得原価及びその内訳

被取得企業の取得原価	119,368千円
取得原価の内訳	
株式取得費用(現金)	114,495千円
株式取得に直接要した支出額(デューデリジェンス費用等)	4,873千円

## (4) 発生した負ののれんの金額等

負ののれん発生益の金額	34,981千円
発生原因	取得した被取得企業の資産及び負債を企業結合日の時価で算定した額(純額)と、取得原価に差額が生じたため

## (5) 企業結合日(みなし取得日)に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	284,860千円
固定資産	92,374千円
資産計	<u>377,235千円</u>
流動負債	58,154千円
固定負債	164,730千円
負債計	<u>222,885千円</u>

2 学会研究会jp株式会社の取得

(1) 企業結合の概要

被取得企業の名称	学会研究会jp株式会社
被取得企業の事業の内容	学会・研究会の会員制コミュニティサイト「学会研究会jp」の運営
企業結合を行った主な理由	学会や研究会を基盤としたコミュニティサービスの共同展開のため
企業結合日	平成23年4月28日
企業結合の法的形式	株式取得
結合後企業の名称	学会研究会jp株式会社
取得した議決権比率	50.0%
取得企業を決定するに至った主な根拠	現金を対価として学会研究会jp株式会社の株式を50.0%取得し、かつ、学会研究会jp株式会社の取締役会を事実上支配するに至ったため

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成23年4月30日をみなし取得日としていることから、平成23年5月1日から平成23年5月31日までの業績が含まれています。当該子会社については連結業績に与える影響の重要性が乏しいことから、平成23年6月1日から平成23年6月30日までの業績は含んでおりません。

(3) 被取得企業の取得原価及びその内訳

被取得企業の取得原価	252,196千円
取得原価の内訳	
株式取得費用(現金)	249,999千円
株式取得に直接要した支出額(デューデリジェンス費用等)	2,197千円

(4) 発生したのれんの金額等

のれん	279,435千円
発生原因	学会研究会jp株式会社の今後の事業展開によって期待される将来の収益力に関連して発生したもの
償却方法及び償却期間	20年間で均等償却

(5) 企業結合日(みなし取得日)に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	28,186千円
固定資産	1,101千円
資産計	<u>29,287千円</u>
流動負債	56,526千円
負債計	<u>56,526千円</u>

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	2,589.02円	4,211.57円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	677,941	1,103,666
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	677,941	1,103,666
普通株式の期中平均株式数(株)	261,853	262,056
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	2,560.88円	4,162.61円
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	2,877	3,082
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しています。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、以下のとおりです。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 2,560.12円

(11)重要な後発事象

当第1四半期連結会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

平成23年7月26日開催の取締役会の決議において、次のとおり株式分割による新株式の発行を決議しました。

1 株式分割の目的

投資単位当たりの金額の引下げ及び株式の流動性向上により、より投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成23年9月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主が所有する当社普通株式1株につき2株の割合をもって分割します。

(2) 分割により増加する株式数

①平成23年6月30日現在の発行済株式総数	262,086株
②今回の分割により増加する株式数	262,086株
③株式分割後の発行済株式総数	524,172株
④株式分割後の発行可能株式総数	1,920,000株

3 株式分割の日程

平成23年9月30日を基準日とし、平成23年10月1日を効力発生日とします。

4 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合における「1株当たり情報」の各数値は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1株当たり四半期純利益金額 1,294.51円

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 1,280.44円

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1株当たり四半期純利益金額 2,105.79円

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 2,081.31円